

本号は、4～6年は18日（金）に、  
1～3年は22日（火）に配布させてい  
ただくことにしました。

校長室だより

No. 43

平成28年3月18日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かざ  
加藤嘉一

### 第69回六ツ美中部小学校卒業証書授与式にあたり

学校と名のつくもののなかで、もっとも長い6年間の学校生活の節目となる六ツ美中部小学校卒業証書授与式。明日の卒業証書授与式を行うにあたり、私は3つのことを願っています。

- 卒業生に心をこめてお祝いをし、送り出してあげること。感動と感謝の気持ちを持たせてあげたいこと。
- 卒業生には、小学校6年間の学業を修めた意味を考えさせ、大きな節目を迎えた意識をきちんともたせること。在校生にも、学業を修めること・別れの意味を考えさせること。
- 全児童に、卒業式だからこそできる自分磨きをする場にする。こと。  
(式と会の区別、体育祭や学芸会などで学んだ動きや表現などの集大成が発揮できること)

卒業証書授与式は、昨年度とほぼ同じ流れで行います。そのなかで、特に、今年は6年生の子供一人一人を主人公にしてあげたいと思い、ステージ横の壁にスクリーンを用意し、卒業生が壇上で名前を呼ばれて返事をし、証書をもらうまでの姿を映すようにしました。(スクリーンは、教頭先生・三浦先生・梅津



先生・熊谷先生・伊庭先生・佐藤事務さんの手作りです) 御来賓も50名近くの方が来てくださいます。本当にありがたいことです。子供たちの卒業を祝い、大きな節目をつくりたいと思います。

【体育館 3月16日(水) 撮影】

## 成 長 と 幸 せ

「平成二十二年四月六日（火）晴れ。入学式十時。」

これは、平成二十二年度学校日誌の記録です。第六十九回六ツ美中部小学校卒業生のみなさんは、この日、春のあたたかな日差しの中で、家の方とともに六ツ美中部小学校の校門をくぐり、パンジーが鮮やかなFBC花壇に迎えられました。そのときに皆さんの頬を駆け抜け、中庭のこいのぼりを泳がせていった風やにおいを思い出せるでしょうか。碧海の大地を駆けていったあの風です。

あれから六年が経ちました。みなさんの心には、六ツ美中部小学校でのたくさんの思い出が作られたと思います。頭に浮かぶ思い出の映像や写真には、友達、先生、家族、地域の方々がそばにいてのことでしょう。学校があったから、周りの人がいたから、楽しいことや苦しいことがあり心が動いたから、思い出になりました。思い出を作った心のひだを、「成長」と呼び、それが「幸せ」につながるように思います。

人間には、三つの幸せがあると聞きます。それは、「してもらえる幸せ」と「できる幸せ」と「してあげられる幸せ」です。

わたしたちは、食べることも歩くことも、自分でできない赤ん坊の頃から、多くの方々に様々なことを「してもらって」「できる」ようになりました。学校でも、先生方や大きい子たち、地域の方に教えてもらって「できる」ようになったことがたくさんあるはずです。

そして、大きくなるにつれ、自分で「できる」ことが増え、人に「してあげられる」ことも多くなってきました。特に、六年生では、自分のことをきちんとやりながらも、登下校や委員会活動などで下学年のお世話や、体育祭・学芸会などで学校の仕事をするのが「できて」、みんなに「してあげて」いました。立派でしたよ。

「してもらえる」ことも、自分で「できる」ことも、人に「してあげられる」ことも人としての幸せです。その幸せは、「幸せだ」と感じる心がないと、幸せだと思えません。また、あなたに「してあげられる」こと、あなたが「できる」こと、あなたに「してもらえる」ことが、周りの人にとってうれしくなることだと、すてきです。

三つの幸せを感じられる人は、とても幸せだと思います。卒業を期に三つの幸せを振り返り、新しい世界で新たな三つの幸せを見つけてほしいと思います。

平成 28 年 3 月

岡崎市立六ツ美中部小学校 加藤嘉一

【平成 27 年度 卒業文集 より】